

世界的に気候変動への問題意識が高まるなか、当社は「お米をはじめとした自然の恵みを取扱う企業」として、環境負荷の低減や食品ロスの削減に取り組み、社会へ貢献できる持続可能なビジネスを目指しています。

企業としての価値を高めていくため、製品の加工時に排出されるCO2の削減に努め、設備投資による高付加価値の製品加工を通じて、新たな付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていきます。

<事業適応の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年9月～2024年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を10.04%以上向上させる。

3. 前向きな取組の内容

以下の取組みにより炭素生産性の向上を計画。

- ・計画初年度は桶川工場にて設備の入れ替えを実施。
- ・計画2年度目はLED照明への更新を実施。
- ・目標年度には購入電力の一部非化石化を実施。

4. 支援措置

カーボンニュートラルに向けた投資促進税制

<桶川工場の外観>

